



沖縄県恩納村

— 青と緑の躍動する村 —

No.111
平成24年2月22日発行

議会だより

うんな



誘導員の指示に従い高台へ避難する区民

区民一丸での避難訓練 シリーズ字の自慢（第21回） 安富祖

地域一体で防災に取り組んでいる安富祖区は、区民一人ひとりが過去の水害や火災などの体験から災害への意識が高く、いち早く地域での自警消防団が結成され消火訓練、独居高齢者宅の訪問、夜間パトロールなどが積極的行われています。

また昨年の3月に発生した東日本大震災の被災地を6月には、役員による視察研修を行ない、その経緯を踏まえ防災審議委員会を構成し村役場、金武地区消防の指導を仰ぎ防災計画書を作成し災害に対する意識や円滑・適切な避難体制の構築に地域全体で取り組んでいます。

平成24年1月には、金武地区消防、石川警察署の協力のもと多くの区民、学校関係者、区内ホテル職員などが参加して避難訓練が行われました。

「ドウ村は自分たちで守ろう」をモットーに、防災活動が熱心な集落である。今後のさらなる活動が期待されます。

記事担当 大城堅三

もくじ

- 所管事務調査・
経済建設民生委員会 P 1
- トピックス（意見書・陳情） P 3
- 一般質問 P 5
- 審議結果一覧 P 11
- 議会の動き P 15



情熱の歌人
うんなナビー

所管事務調査

－経済建設民生委員会－

指定管理者制度について

平成23年7月から11月にわたり指定管理者制度の調査を行いました。

指定管理の実態を把握するために、委員会の所管する4施設を対象に8項目の調査項目と委員からの質問とで聞き取り調査を実施しました。

調 査 項 目

- ①施設の管理や営業及びサービスの面で負担や協定書の内容で制約を感じていることはないか。
- ②指定管理者として協定書または目的に合った管理運営がされているか。
- ③職員の地域雇用の割合は。
- ④職員の社会保険や労働保険の整備はどのような状況か。
- ⑤地元の振興になっているか。
- ⑥民間企業における利潤追求に係る事業活動と指定管理者制度導入については、公共サービスの質を高めるとともに管理費を低く抑えることに狙いがあるのだが、当該事業活動についての認識を伺いたい。
- ⑦管理者自身がサービス向上と改善のための情報収集を行っているか伺いたい。
- ⑧管理を指定した村及び第三者機関による監査を取り入れる考えはあるか。

夏場の営業は、順調に推移している。職員は常時8名雇用し、村内出身者6名でその内3名はライフセーバーの有資格者である。



■ 有限会社ナビービーチ
海浜公園ナビービーチ

職員の保険に関しては、今のところ整備はされておらず、夏と冬の利益の差が激しくて厳しい状況である。冬場の利益を確保するために、モズクなどを栽培し確保している。

地元の振興については、地域からの雇用や、うんなまつりで地元の小学生へのバナボート体験などがある。有限会社ナビーからは、ビーチ利用についてホテルとの契約が取れば状況も変わる。現在は厳しい状況で、ビーチ運営上必要不可欠との意見があり、今後改善してほしいとの要望がありました。

所官事務調査とは

常任委員会のもつ調査権限で委員会が所管する事務について会期中に自主的に調査を行うことができる。

調査を行う場合には議長に対し通知が必要になります。また継続調査の議決があれば閉会中も調査が可能となります。

調査は問題のある事務や議案、条例案等を分析・検討し改善策を究明していくものです。

真栄田岬

周辺活性化施設

株式会社まえた



サービス面、職員の雇用状況や保険関係は特に問題はありません。職員は真栄田区出身者で清掃作業なども地元住民を活用している。決算書や、株主が66人から1人になったこと、シャワー室建設時の受注者と発注者が同一であることに対して指摘がありました。

委員からは、指定管理の

制度をよく理解して公平・公正・透明性が重要なので、今一度方向性を検討してほしい。

また、真栄田漁港や山田の城跡なども含めた観光も考えて、山田校区の観光の拠点として頑張っていたきたいとの意見がありました。

ふれあい

体験学習センター

ニライカナイ



現在の指定管理者はNPOふれあいネットONNA

地元の振興の面では、年間7万から9万人近い修学旅行や5千から8千人の一般の利用者があり、それに伴い飲食や宿泊、体験学習による地元との交流などがあり地域に貢献していると思います。

公共サービスについては、修学旅行を重視して自主事業を増やすことにより、地元のイベントやホールの貸し出しが受けづらくなる。

自主事業に力を入れるほど地域貢献になっているか疑問を感じる。

今後、利用料金や村の利用方法などを改善していく必要がある。

農水産物販売センター

(おんなの駅)

株式会社おんな

施設の管理や協定書での負担はなく、雇用保険も充実している。地元の振興は、600人以上の農家が農産物を

出荷しており、職員の地元採用は70%を超えている。

今後の課題として、村博物館と一体化した観光振興や観光農園、加工工場なども検討している。

また、駐車場が狭く周辺に迷惑をかけているので、駐車スペースを確保してほしいとの要望がありました。



運用上の留意点として

○公金で設置された施設であり、公益性を保つ観点から、下記の項目を条例や協定書に付け加えることを検討してもらいたい。

○定期的に収支報告会や運営協議会などを設ける。

○村民のチェック制度や村が指定した第三者機関による監査を取り入れる。

○管理を指定した地方公共団体の職員が定期的な訪問や指導を行う。

○管理者自身がサービス向上と改善のための情報収集を行う。

トピックス

「株式会社まえた」を再指定 真栄田岬周辺活性化施設の 指定管理者

真栄田岬は近年、シュノーケリングやダイビングポイントとして脚光を浴びるようになりました。

ここに立地する恩納村真栄田岬周辺活性化施設は、恩納村から指定を受けて地域の活性化を目的に地元企業（指定管理者）が運営しています。

この施設の指定管理期間が平成24年3月で契約期間満了となることから、次の5ヵ年の管理を引き続き「株式会社まえた」に指定する議案が提出され経済建設委員会に付託されました。

委員会は

反対多数で否決

所管する経済建設民生委員会は、平成23年6月からおよそ半年間にわたりこの施設の指定管理会社について調査を実施しました。

この調査内容も踏まえて付託された議案を審議した結果、条件付きで再指定に賛成する意見もあったが、管理者に対し改善点を指摘した意見書に対し「対応は厳しい」との回答に、現状での再指定には疑問視する意見が多数を占め原案は否決されました。

委員長報告に反対・

賛成討論が活発

12月定例会最終日の本会議においてこの議案の審議が行なわれました。

「再指定には反対」とする委員長報告にたいして、議員による賛否の討論が活発に交わされた後、「株式会社まえた」を再指定するかについての採決が行なわれ、賛成8・反対7で原案のとおり可決し平成24年4月から5ヵ年間再び指定管理者として決定しました。

～ 委員長報告は原案否定～

委員長報告に対する反対（原案賛成）討論

仲田 豊 議員

山田校区の真栄田漁港や山田城址などを含めた観光の拠点として今一度頑張ってもらいたい。

長嶺 律夫 議員

今回協定書に運営協議会の設置が盛り込まれた。これを活用し外部監査など検討できると思う。調査では会計処理や施設の譲渡契約等の疑念がありましたが、これは引き渡し時期の曖昧さが疑念を生じさせたものと思われる。

長浜 義巳 議員

指定管理を受けた会社の定款や経営方針に踏み組むことは制度の利点を損なってしまう。真栄田区民の総意で設立されており今後も地域の発展に貢献できると思う。

又吉 薫 議員

区民を中心に構成され、地域の活性化に繋がっている。村民や利用者の利便性も向上して、村の財務を圧迫せず、協定違反も見受けられない。利益を地域に還元しており今後も頑張ってもらいたい。

委員長報告に対する賛成（原案反対）討論

吉山 盛次郎 議員

軍用地料に頼らない地域活性化のモデルとして株式会社まえたに期待しているが、現状は経営の透明性が保たれず、自浄能力が欠けている。

喜納 正誠 議員

指定管理者として公平・公正な透明性のある株式会社まえたであってほしい。監査委員の身分の問題等もあり、苦渋の決断をしました。

山内 鈴子 議員

委員会として半年も調査に費やしてきた。1名の監査委員が公務員であった状況もありました。公平・公明性に欠けており苦渋の選択をした。

宮崎 豊 議員

委員会での調査が順調に進まなかった。議長発言が調査を遅らせた大きな原因である。決して株式会社まえたに反対ではないが、しっかりした調査のもと公平な立場で運営され指定を受けてほしい。

経済建設民生委員会意見書 所管事務意見書

真栄田岬周辺活性化施設は地域の活性化に寄与するところが大きい。地元、真栄田区の関係する会社に指定するのは反対ではない。しかし、公正、公平で透明性をもって地域の融和を保てる方向で進んでほしい。

委員会の結論として以下の4点を改善すべきとして調査報告とした。

- ① 代表一人、株主一人という公平さに欠ける役員人事を改める
- ② 隣接行政区から発言権のある役員を入れる
- ③ 企業運営のノウハウを持つ人材活用
- ④ 外部監査を導入して運営の透明性を図る

記事担当 宮崎 豊

議長続投 辞職願は不許可

恩納村議会は平成23年度12月定例会の最終本会議で議長から提出された辞職願について採決し、賛成・反対が7対7の同数となり、仲田副議長の裁決で不許可となり、山城郁夫議長は続投することになりました。

山城議長は経済建設民生委員会が実施した指定管理に関する所管事務調査の委員会で参考人招致のための2度目の招致文書に押印しないと拒否（発言）し、また自ら議長職辞任を示唆するような発言もありました。

その後、議長は今回の自身の発言について「配慮不足で誤りであり、委員会審議に支障をきたした」として、深く反省し委員会の場で謝罪を述べました。

これに対し委員から「委員会活動の妨害である」、「今後の委員会活動に不安を感じる」として、いったんけじめをつけて辞表を提出し、本議会で採決すべきとの意見が出され、議長は辞職願を提出することになりました。

一方で、辞職願いを否決した側の議員からは「今回の件について、委員会の場で謝罪し深く反省している、またこれまでの議会運営で議長を辞職するほどの失点はない」との意見があり前記の結果となりました。

参考：地方自治法第108条

地方公共団体の議会の議長及び副議長は議会の許可を得て辞職することができる。（一部省略）

記事担当 又吉 薫

子供たちの健やかな育みを考える

（陳情第16号）
総務財政文教委員会

国では幼稚園と保育園を一体化して、新たな「こども園」（仮称）の設立が議論されています。陳情者から「沖縄県では幼稚園・小学校・中学校と一貫して地域に密着した教育がなされており、全国一律に進められると幼小連携の幼稚園教育が崩壊する危険がある。

また幼稚園・就学前教育は教育の基礎であり、次世代育成や沖縄県の将来のためにも制度改革が必要である」という内容でした。

審査の結果、全委員の賛成で採択となりました。そして幼稚園教育等の制度改善を求めて意見書を提出しました。

意見書の要請項目

- (1) 子ども支援を中心とした新沖縄振興計画の策定。
- (2) 沖縄県の幼稚園教育の歴史と

現状をふまえ「幼小連携」を発展させる形で進める。

- (3) 幼稚園教育の準義務教育科、無償化の制度設計を図ること。

県民と女性蔑視に抗議

（委員会発第9号）
基地問題対策委員会

恩納村議会は12月定例議会で田中聡前沖縄防衛局長の発言に対する抗議決議を全会一致で可決しました。

決議文は「沖縄の基地負担や米軍人による事件・事故の歴史に触れたうえで、発言が県民の長年の耐え難い苦痛をあざわらい、県民と女性を侮辱し愚弄するもので言語道断」と厳しく糾弾しました。

基地を沖縄に今後も押し付ける政府・官僚の本音が見え、沖縄軽視と差別意識を露呈しており、到底許されるものではないとして、前局長の発言の撤回と謝罪、一川防衛大臣の責任の明確化を強く求めました。

記事担当 長浜 善巳

一般質問

Onna Village Assembly

第9回恩納村議会定例会 平成23年12月12日・13日

今回の質問項目

〔○は今回掲載された質問です〕

仲田 豊 議員 ☎967-8338 P-6

- 沖縄振興一括交付金について
- 災害時ホームページ代理掲載について

當山 君子 議員 ☎967-8508 P-8

- 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の取り組みについて
- 認知症サポーター養成について

又吉 薫 議員 ☎966-2911 P-6

- 財源（予算）確保のための体制強化について
- 北部振興事業について

宮崎 豊 議員 ☎966-2458 P-9

- 恩納村に鉄軌道を
- 国道の雑草対策
- 恩納村海浜公園の運営状況

山内 鈴子 議員 ☎964-3468 P-7

- 発達障がい児開学について
- 不妊治療費の助成について
- 児童生徒を対象とした分別作業の指導について

吉山盛次郎 議員 ☎965-0669 P-10

- 地域開発と環境保全の均衡を図る方策について
- 図書館建設に向けての進捗状況について
- 中学校統合について

長浜 善巳 議員 ☎965-2100 P-7

- スポーツ振興で村興しを
- 情報の共有化で分かりやすい行政運営を

喜納 正誠 議員 ☎964-2580

- 村の斎場の件について
- 株式会社まえだの指定管理について

金城 弘 議員 ☎967-8018 P-8

- 沖縄畜産跡地利用について
- 農業施設の老朽化に伴う施設補助及び助成金について
- 恩納村における光回線（FTTH）の普及について

議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、会議録に基づいて各議員が600字以内にまとめ、議会広報委員会が会議録で最終確認したものを掲載しております。

議会会議録は議会事務局、各字公民館でご覧いただけます。
また、村ホームページ（会議録）からも検索できます。

仲田 豊 議員

沖縄振興一括交付金について

質 政府は沖縄振興策として、県が自由に決められる新たな一括交付金制度を創設する方針を固めました。

沖縄振興一括交付金について村長はどのような考えか見解を伺います。

答 村長 志喜屋文康

村としては、村民のニーズに合わせ地域振興の新たな事業が実施できるメリットに期待している反面、制度を決めるのは国であり動向を注視しています。

これまで同様な交付金になる部分が多いのか大変懸念しています。

質 県分と市町村間の配分の協議はあったのか伺います。

答 総務課長 名城淳一

一括交付金について4月に説明会があって作業部会を8月後半からあり割合についてある程度話はしております。

災害時ホームページ代理掲載について

質 東日本大震災をきっかけに災害情報の確保が重要なテーマになっており、役所が甚大な被害を受けた場合、ホームページも使用不能になる可能性もあり、非常時に村民への情報発信が絶たれるのを防ぐ有効な手段として注目されております。

遠隔地における姉妹都市において災害協定を結んでいる自治体はありますか。

答 総務課長 名城淳一

県内で災害協定を結んでいる自治体は確認できません。

質 大災害が起こった場合に、住民が情報を取り入れるためには、遠隔友好都市に必要ではないかと思えますけど、災害時ホームページ代理掲載を友好姉妹、友好都市の遠隔地の自治体と連携し応援協定することを進めますけど、村の考えを伺います。

答 総務課長 名城淳一

この件については、予算的な事もあります。今後、いろいろなこ

とが想定されますので、庁内で十分議論していきたいと思えます。



又吉 薫 議員

財源(予算)確保のための体制強化について

質 一括交付金制度等、予算配分方法が変わります。

厳しい財政環境の中、村も村民や各行政区のニーズを捉え、補助金メニューの採択要件などを調査研究し事業計画として企画立案し、予算化に向けて行動するプロジェクトチームの必要性、考えはないか。現体制も含め質問します。

答 村長 志喜屋文康

今は企画課と総務課で聞き取りし一括交付金の勉強会と事業計画について25名の管理職と若い方々を入れてやっている。

これからの事業予算の確保に知恵を出し、しっかりとやれる若手職員の育成を図っていきたい。

北部振興事業について

質 平成21年度現在、ある統計で北部12市町村で実施された北部振興事業は件数で196件、額にして910億円、内国費が約789億円実施されています。

恩納村で実施された主な事業と件数金額の実績、成果、自己評価を聞きます。

答 企画課長 佐渡山安正

全事業で件数8件、事業費38億、国費34億円を実施。

主な事業は、瀬良垣漁港、塩屋公営住宅、真栄田岬活性化施設、赤間運動場、谷茶多目的交流施設、恩納村斎場等を実施しております。

答 村長 志喜屋文康

地域産業の振興及び地域の活性化や村民福祉に寄与していると認識している。

10年間の事業通して、村民から高い評価を頂いている。

質 来年度から5年間の新北部振興事業活用の基本方針と具体的にどの様な事業を企画立案しているか予算を含めお聞かせください。

答 村長 志喜屋文康

北部連携促進事業を基本とし、事業計画として、環境分野で7事業、農林水産分野で3事業、教育分野で1事業、環境整備で5事業を考えている。予算は大枠では69億円です。

山内鈴子
議員

発達障がい児 開学について

質 金武町では何年も前から発達障がい支援を実施していますが、なぜ恩納村では発達障がい開学に向けて整備計画をしないのか。

答 福祉健康課長 大城保篤

サービスを利用していただく村民は近隣の市町村を利用しています。意欲のあるサービス提供事業者が村内に展開することを期待している。

質 恩納歯科医院を発達障がい児の教育施設として、活用させて

ほしいという要望の声も聞こえますが、行政としての見解をお聞かせ願いたい。

答 福祉健康課長 大城保篤
ある事業所が村に進出を希望している話は、3年前から伺っております。

村の財産の部分の借用、賃貸借も所管についても総務課の管財係のほうで、公有財産賃貸借等検討委員会へ申請はいつていると思います。

【質】 金武町は発達障がい児支援の2施設、兼任した障害児のデイサービスの施設が既に4施設が開設されています。行政としてどう考えているのか。

答 福祉健康課長 大城保篤
金武町は「手を繋ぐ親の会」と
社会福祉協議会が事業所を展開し
てきている現状です。

質 保護者は子供達の面倒を見るために働けない現状を、行政としてどう受け止めているのか。

一時的に社会福祉協議会の工作室を発達障がい児の施設として検討できないか。

福祉健康課長 大城保篤

事業所によっては利潤の関係、利用者の数の関係で送迎できない状況があって、家族の皆さんは大変な思いをしているのは承知しています。

社会福祉協議会は公的性格がありますので、収益事業は差し控えたほうがいいかと感じます。

長浜善巳
議員

スポーツ振興で
村興しを

【質】 少子化に伴いスポーツをする子ども達が減少。試合や大会へ出場が困難になり近隣のスポーツチームと合併を余儀なくされている。

県が市町村に推進してきた総合型地域スポーツクラブの設立、村では考えているか。

答 教育課長 當山欽也

村体協やスポーツ団体等と意見交換のできる場を持ち今後、検討

していきたい。

質 設立ができていないということとは、どのような問題があったか。

答 教育長 石川哲夫

人材育成をしてこなかったという点が大きな課題、そして予算的な裏付けを最終的にできなかった。人材育成をし、総合型地域スポーツクラブに移行していければと願っております。

情報の共有化で分かりやすい行政運営を

質 村民からの提言やご意見、苦情など「村民の声」は統一された様式に沿って報告が上がる仕組みか。

答 総務課長 名城淳一
様式は統一しておりません。

質 職員も一緒になって共有しなければいけない。

一つの書式でまとめ保存、閲覧することによってこういった対策をすればいいか見えてくる。

答 総務課長 名城淳一
様式が必要か話し合いをして必

要であれば作っていききたい。
質 予算書は1年の予算、数字しか掲載されません。

通常、事業名と金額の記載が主になって実際にどのような事業が行われるのか分かりにくい。

そこで具体的な事業の内容を村民の皆さんに知らせることを目的に予算説明書を導入する市町村が増えてきています。

村民と情報の共有化ということで導入は考えられないか。

答 総務課長 名城淳一
簡単な数値と総括的なものしかのっていない。村民から解りにくいということは感じております財政事情も含めて検討させていただきます。



金城 弘 議員

沖縄畜産跡地利用について

質 1、第5次総合計画において、どのような形で推進していくのか。

2、地域の活性化や雇用の拡大が図れる企業の誘致は。
3、集落に近い場所に住宅整備造成の計画は。

答 企画課長 佐渡山安正

1、地域の実情や要望等に配慮しながら村有地の有効活用を推進したい。2、地域の推進する企業など活用方法の提案要望等を踏まえ検討したい。

答 建設課長 仲嶺真季

3、具体的住宅需要計画の要望等を踏まえ地域の実情を考慮し検討したい。



農業施設の老朽化に伴う施設補助、助成金について

質 購入に対して補助及び助成金として、新規に申請する農家同様に対応できないか。

答 農林水産課長 大城哲夫

購入は予算の範囲内において対応できる。

恩納村内における光回線FTHの普及について

質 1、村内での光回線の普及率はどのような状況なのか。

2、ブロードバンドサービスは年々進化しているが発展の妨げになっていないか。

3、国県市町村が光回線整備に関して補助等はあるか。

4、村が光回線を整備するためにやっている推進事業はあるのか。

答 総務課長 名城淳一

1、インターネット通信環境は、富着以南については民間通信事

業者による光ファイバー整備されており、谷茶以北については平成19年9月に村と民間業者が連携してADSL通信施設の整備をした。

光ファイバーケーブルを利用した各種サービスについては、将来的には整備が必要だ。

2、公共施設等の整備については補助メニューがあり民間地域の整備については確認しております。

3、ありません。沖縄科学技術周辺整備計画の中で国県村が連携して光回線整備について、話し合いを行っている。

4、沖縄科学技術大学院大学周辺整備計画の中で検討する。



當山君子 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種の取り組みについて

質 後期高齢者医療広域連合の23

年度の肺炎球菌ワクチン実施予定の調査により41市町村中11市町村が広域連合からの補助金で予定、6町村は既に自主財源で実施され県全体で17市町村が実施。

本村に後期高齢者医療広域連合より人間ドック、肺炎球菌ワクチン接種について調査されたがその結果について伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤
人間ドックは実施していない。

肺炎球菌の接種については検討中と回答をしております。

質 肺炎球菌ワクチン接種の対象について伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤
交付金の対象で75歳以上で約1200人、65歳以上で2800人。

質 対象者への予防接種費用の助成はどのぐらいか。

答 福祉健康課長 大城保篤
75歳以上で960万円が必要65歳以上で2240万円。財政部局、執行体制を含め検討が必要であります。

質 後期高齢者の受診率を伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤
健康診査の受診率は対象者が1209人中434人が受診、受診率35・8％です。

質 村長に肺炎球菌ワクチン接種についての見解を伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤
24年に向け高齢者の方々を含め、村民の期待に応えるようにしたい。

認知症サポーター養成について

質 認知症を正しく理解し応援者として地域での支えが必要かと思えます。本村での認知症についての取り組みを伺います。

答 福祉健康課長 大城保篤
平成20年、21年に年1回高齢者の福祉講演会で認知症について講話を実施、本年度はシルバー教室で6月に実施しております。

質 認知症サポーター養成講座の開設はできないか。

答 福祉健康課長 大城保篤
村民の認知症に対する理解を促進し、見守り体制を構築していきたい。開設には定期不定期等、実

施体制の部分を勘案し検討したい。

宮崎 豊 議員

恩納村に鉄軌道を

質 国は昨年から本県における鉄軌道導入の可能性調査を始めました。今こそ大型リゾートホテルを有する恩納村をアピールして恩納村にルートが当たるように動き出すべきではないか。

答 村長 志喜屋文康
国県に対するアピールは私も行政だけでなく議会も一緒にやっていただきたい。

今年度の調査を踏まえて、議会と協力しながら是非取り組んでいきたい。

質 調査研究費を新年度予算に計上できないか。

答 村長 志喜屋文康
お互いの村の盛り上がりを勘案しながら予算を作ろうと思っております。

国道の雑草対策

質 交通事故の誘因につながる様な状況になっています。きれいな海を前にしてもこんな状態では、自信を持って観光客に見せることはできません。現状をどう考えるか。

答 建設課長 仲嶺真季
沖縄の観光振興の発展は危惧されますが、除草作業は実質的に2倍に増えている。

質 24年度どういう状況になりますか。

答 建設課長 仲嶺真季
24年度については、あと1回増やしてほしいと申し入れてあります。

恩納村海浜公園の運営状況

質 海浜公園の運営状況はどうなっているか。

答 商工観光課長 平良幸夫
22年度の実績で入込客数が前年度比6％の減となっています。

村としても運営が安定するようにバックアップしたい。

質 国道に大きな案内板「ナビービーチ」の設置できないか。

答 商工観光課長 平良幸夫
指定管理者と検討したい。

質 国道に看板を設置する要請できませんか。

答 商工観光課長 平良幸夫
国道が設置する看板については要請したい。



国道に設置されている案内看板

質 ビーチを持たないホテルがこ
こを利用したい。ホテル側と契約
が必要という要望。この件で当局
はどのような見解か。

答 村長 志喜屋文康
営業をしてそこにお客さんと呼
ぶことについては頑張ってください
と言っている。

吉山盛次郎 議員

地域開発と環境保全 の均衡を図る方策に ついて

質 住民と審議会の意見に相違が
出た場合村長は環境、開発にど
ういう立場をとるのか。

答 村長 志喜屋文康
区長から土地利用用域の見直し
の意見書をもとに策定委員会で村
案を策定して、土地利用基本計画
審議会で審議をしていたかとい
う流れの中で私としては新たな用
域として答申している。

質 村長としていかに条例をもと
に村の環境を守り、リゾート地と
して発展させていくか理念を伺
いたい。

答 村長 志喜屋文康
その条例の中で地域にとって素
晴らしい事業であるか、その判断
をやっていく。観光リゾート村と
してしっかりやっていきたい。

図書館建設に向けて の進捗状況について

質 進捗状況を伺います。

答 教育課長 當山欽也
庁舎内に図書館設置検討委員会
を設置し、図書館計画推進委員会
により答申のありました役場庁舎
コミュニティーセンター、福祉セ
ンター、博物館、それらの施設が
図書館として使えないか検討して
いる。

中学校統合について

質 アンケートの結果について伺
います。

答 教育課長 當山欽也

結果は教育振興審議会からの答
申のあと広報誌等で公表する予定
にしています。3月頃。

質 反対という非常に強い向かい
風をうけている中で教育委員会と
してはどのように克服していけれ
るか、方向性を伺いたい。

答 教育長 石川哲夫
「統合を前提とした調査です
よ。」ということを知ってもらいた
いと思います。

質 住民投票そういう手段も用い
るのか。

答 教育長 石川哲夫
村民が不安に思っているものを
クリアできるような形を示してい
きたい。

それでもだめであれば村民がど
う動くか判断しながら5回以上の
地域懇談会を経て、最終決定した
い。

質 村長から学校統合について見
解。

答 村長 志喜屋文康
通学スクールバスとか行政と
してしっかりやっていきたい。

議案等の審議結果一覧

平成23年第 9 回定例議会

平成23年12月 8 日～15日

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 68 号	恩納村防災会議条例の一部を改正する条例	恩納村地域防災計画の見直しに伴い、防災会議委員の定数を見直す一部改正です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 69 号	恩納村附属機関設置条例の一部を改正する条例	スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の施行に伴い、審議会の名称を恩納村スポーツ推進審議会に変更する一部改正です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 70 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の施行に伴い、特別職の名称を体育指導員から、スポーツ推進委員に変更する一部改正です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 71 号	恩納村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与勧告による給与改定を考慮し、恩納村職員の給与を減額する一部改正です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 72 号	恩納村スポーツ振興審議会の設置に関する条例の一部を改正する条例	スポーツ基本法（平成23年法律第78号）の施行に伴い、審議会の名称を恩納村スポーツ推進審議会に変更する一部改正です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 73 号	恩納村真栄田岬周辺活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	シャワー室の設置に伴い、恩納村真栄田岬周辺活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するものです。 シャワー室は 8 時から19時利用でき、シャワーの利用料金は 2 分で200円となります。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 74 号	恩納村コミュニティセンターの指定管理者の指定	指定管理者を引き続き恩納村商工会に指定するものです。 指定期間：平成24年 4 月 1 日から 平成29年 3 月31日までです。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 75 号	恩納村真栄田岬周辺活性化施設の指定管理者の指定	指定管理者を引き続き、株式会社まえだに指定するものです。 指定期間：平成24年 4 月 1 日から 平成29年 3 月31日までです。	原案可決 (8：7)
議 案 第 76 号	平成23年度恩納村一般会計補正予算（第 4 号）	歳入歳出予算の総額に6,238万 6 千円を追加し、総額で65億8,189万 2 千円とするものです。 主な事業は、災害復旧、赤間産業廃棄物処理委託、村道仲仙道線整備工事、一般廃棄物最終処分場災害復旧工事です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 77 号	平成23年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	歳入歳出予算の総額に 1 億3,717万 9 千円を追加し、総額で15億3,091万 9 千円とするものです。 主な歳出項目は、保険給付費、共同事業拠出金となっています。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 78 号	平成23年度恩納村下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	下水道管理費の光熱水費から電話料へ、また下水道整備費の燃料費、塩屋排水処理施設の備品購入費への予算組み替えです。	原案可決 (全会一致)

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 79 号	平成23年度恩納村水道事業会計 補正予算（第4号）	営業外収益36万7千円増額し、支出の営業費用 62万6千円の増で、予備費から25万9千円が充当 されます。 収入は開発負担金で、支出は漏水調査委託料で す。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 80 号	仲泊畑地かんがい施設工事請負 契約の一部変更	元契約金額 1億1,103万7,500円 改定契約額 1,371万3,000円 新契約金額 1億2,475万500円 改定による完成日 昭和24年3月23日 原 因 事業量の変更	原案可決 (全会一致)
報 告 第 7 号	恩納村立山田小中学校校舎改築 工事（建築）請負契約専決処分	元契約金額 5億3,760万円 減 額 358万5,750円 新契約金額 5億3,404万4,250円 改定による完成日 昭和24年1月16日 原 因 基礎工事の減額変更	報 告
報 告 第 8 号	恩納村立山田小中学校校舎改築 工事（電気）請負契約専決処分	元契約金額 6,825万円 増 額 115万5,000円 新契約金額 6,940万5,000円 改定による完成日 昭和24年1月16日 原 因 事業量の変更	報 告
委員会発 第 9 号	前防衛局長の不適切発言に抗議 し、防衛大臣の責任を明確にす ることを求める抗議決議	別項記事参照 前防衛局長の人権感覚を欠いた発言に対する抗 議する決議	可 決 (全会一致)
委員会発 第 10 号	幼稚園教育等の制度改善を求め る意見書	別項記事参照	可 決 (全会一致)
	議長辞職の件	議長から提出された辞職の許可願い	不許可 (7：7) 副議長裁決

■ 請願及び陳情に関する取り扱い

番号・受付日	件 名	処 理 結 果
陳情第16号 平成23年9月8日	「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見 書提出に関する陳情 子ども支援を中心とした新沖縄振興計画の策定、幼少連携を發展 させる形で進める、幼稚園教育を準義務教育化、無償化の制度設計 を図る要請	第9回定例会 採 択
陳情第17号 平成23年11月18日	「消費税によらない最低保障年金制度の実現を求める意見書」採択 に関する陳情 陳情内容は年金の引き下げ、支給開始年齢を引き上げないこと。 無年金、低年金者へ基礎年金の国庫負担分を緊急支給すること。受 給資格期間25年を10年に短縮することを求める。	第9回定例会 資料配布
陳情第18号 平成23年12月2日	(メジロ)「愛玩鑑賞目的の捕獲禁止」に関する意見書提出要請 環境省は、鳥獣保護法に基づく指針の改革案としてメジロ捕獲を原 則として認めない方針を決めた。沖縄の歴史的状況を汲み取り、こ れまで通り1世帯1羽の飼育ができるよう要請を求める。	第9回定例会 資料配布

■組合議会の報告

受付日	事 務 組 合	報 告 の 内 容	結 果
平成23年 11月28日	中部北環境施設 組合議会 第 51 回 (定例会)	☐ 認定第 1 号 平成22年度中部北環境施設組合一般会計歳入歳出決算認定 歳入決算額 15億8,965万1,703円 歳出決算額 15億1,408万7,108円 歳入歳出差引額 7,556万4,595円 平成22年度の事業概要 ごみ溶融処理 (3 万4,520トン) 可燃ごみ 3 万3,404トン 名護市可燃ごみ 1,116トン リサイクル処理 (3,010トン) 不燃ごみ 563トン 粗大ごみ 299トン 資源ゴミ 2,140トン 名護市不燃ごみ 8 トン	承認
		☐ 議案第 4 号 平成23年度中部北環境施設組合一般会計補正予算（第 1 号） 歳入歳出予算の総額19億5,004万円から、歳入歳出それぞれ 3,156万 1 千円を減額し、歳入歳出予算の総額を19億1,847万 9 千 円とする。 ☐ 中部北環境施設組合の公平委員会の事務の委託に関する規約を定 める協議 沖縄県と規約を定める協議をすることについて、地方自治法第 292条において準用する。	可 決
平成23年 12月 2 日	沖縄県介護保険 広域連合議会 第 31 回 (定例会)	☐ 議案第 9 号 平成23年度沖縄県介護保険広域連合一般会計補正予算(第 2 号) 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ113万 9 千円を追加し、 歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 9 億 6、423万 9 千円とす る。 ☐ 議案第10号 沖縄県介護保険広域連合一般職員の給与に関する条例の一部を 改正する条例 平成23年国及び県の人事委員会給与勧告、並びに構成市町村の 状況を勘案し、給与を改正する必要がある。 ☐ 議案第11号 沖縄県介護保険広域連合の公平委員会の事務の委託に関する規 約を定める協議 地方自治法第292条において準用する同法第252条の14第 3 項に おいて準用する。	可 決
		☐ 報告第 1 号（専決処分の報告） 車両事故に伴う相手方車両の損害賠償の決定 損害賠償額 14万5,000円	報 告

平成24年第 1 回臨時会

平成24年 1 月25日

議案番号	件 名	議 案 等 の 概 要	結 果
議 案 第 1 号	平成23年度恩納村一般会計補正 予算（第5号）	歳入歳出予算の総額に1,284万7千円を追加し、 総額で65億9,473万9千円とするものです。 主な歳出は、共済組合負担金、太田団地改修工 事の防水工事の追加です。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 2 号	平成23年度恩納村国民健康保険 特別会計補正予算（第4号）	歳入歳出予算の総額に14万6千円を追加し、総 額で15億3,106万5千円とするものです。 主な歳出は、共済組合負担金で地方公務員等共 済組合法の一部改正による負担率の変更によるも のです。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 3 号	平成23年度恩納村下水道事業特 別会計補正予算（第4号）	恩納村生活排水処理基本構想委託料15万9千円 を共済費に充当する予算の組み替えです。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 4 号	平成23年度恩納村水道事業会計 補正予算（第5号）	収益的支出の営業費用総務費賃金30万2千円を 議決経費の法定福利費に16万3千円、配水及び給 水費の法定福利費に13万9千円を充当するもので す。	原案可決 (全会一致)
議 案 第 5 号	恩納漁港多目的広場整備工事請 負契約	契約の方法：指名競争入札（指名業者数11社） 契 約 金 額：5,667万9千円 契約の相手：恩納村字前兼久（株）当山土木	原案可決 (全会一致)
議 案 第 6 号	恩納村一般廃棄物最終処分場災 害復旧工事請負契約	契約の方法：指名競争入札（指名業者数11社） 契 約 金 額：5,903万1千円 契約の相手：恩納村字恩納（有）新里建設	原案可決 (全会一致)
議 案 第 7 号	土地の処分	処 分 地：恩納村字屋嘉下口 処 分 面 積：6,554.46㎡ 処分予定額：1億5,117万2,380円 契約の相手：沖縄総合事務局 北部国道事務所	原案可決 (全会一致)

記事担当 長嶺律夫

編集後記

「議会だより」は慣例として、毎回定例会
終了後に発刊し、各委員が順番に編集長を
務めることになっており、第111号の編集長
は私が務めることとなりました。

新人委員として初めての記事の執筆や構
成で悪戦苦闘の中、先輩委員の指導を受け
ながら、「議会だより」の編集会議の中で、
村政や議会のことなど日々多くのことを学
んでいます。

平成23年12月定例議会は各委員会での議
論や本会議での各議員の一般質問や活発な
討論があり、更には多くの村民の議会傍聴
もあって活力のある議会でした。

今回の「議会だより」もそれを反映した
内容となっております。私たち広報委員会
は毎回の編集会議で活発な議論のもと、分
かりやすく充実した内容で議会や村政の状
況を伝え、「議会だより」をとおして、村
民に近い議会を目指しております。今後と
も村民からの積極的な意見・ご指導をお待
ちしています。

初春の息吹を感じる今日この頃ですが、
村民におかれましては昇竜の辰年を希望を
もって力強くスタートしたことを思います。
明るく、活力ある村づくりに議会も村民
とともに頑張っていきたいと思えます。

編集長 又吉 薫

議 会 の 動 き

11 月

- 25日 恩納村文化展
- 28日 恩納村農振協・部会交流会
- 29日 広報委員会研修



パネリストを務める長嶺律夫委員長

- 30日 農家さん・なかゆくい感謝の集い

12 月

- 5日 北部市町村議会議長会定例会 (議長)
金武地区消防組合議会定例会
(金城弘・山城良一議員)
- 6日 議会運営委員会
- 7日 海ぶどう生産部会天皇杯受賞祝賀会
- 8日 第9回恩納村議会定例会 (傍聴44人)
(15日閉会)

- 16日 産業まつり・山芋ほりおこし



産業まつり・山芋スープ 第3位

- 17日 産業まつり (18日まで)
- 21日 金武地区消防組合議会臨時会
(金城弘・山城良一議員)

- 26日 サンマリーナ内覧会 (議長)

1 月

- 4日 平成24年恩納村成人式
- 5日 恩納村村民新年祝賀会
- 6日 消防出初め式
- 11日 北部市町村新年会 (議長)
- 12日 広報委員会
ゆうなの会合同新年会 (議長)
- 17日 安富祖区津波避難訓練



避難訓練に向けての事前協議会

- 21日 NPOふれあいONNA新年会 (議長)
- 24日 議会運営委員会
- 25日 第1回恩納村議会臨時会
広報委員会
- 26日 後期高齢者医療広域連合全員協議会
(宮崎豊議員)
- 27日 恩納分屯基地主催・新春の集い

2 月

- 1日 広報委員会
- 10日 三星ライオンズ歓迎式 (議長)
広報委員会
- 14日 後期高齢者医療広域連合議会定例会
(宮崎豊議員)
- 15日 沖縄県町村議会議長会定例総会 (議長)
介護保険広域連合議会全員協議会
(當山君子議員)
- 16日 沖縄県町村議会議員研修会
- 19日 三星ライオンズとの懇親会
- 20日 議会運営委員会

■発行：恩納村議会

住所：沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地

■編集：議会広報委員会 電話 (098)966-1199

メールアドレス：gikai@vill.onna.okinawa.jp